

PORCELAIN PAINTER YABUMEIZAN

2016.5.2.MON - 5.27.FRI

10:00 ~ 18:00 | 観覧無料 (休館日 日曜・主催 (株)平成建設)

平成記念美術館 ギャラリー

会場：2階 特別展示室

2015年5月に開催された「藪明山展」では、約70点の極細密上絵を展示し、人並み外れた細密さと美しい上絵付にご好評を頂きました。今回第二弾として、100年以上の時を経て再び日本の地に戻って来た作品を加え展示いたします。

超絶技巧の極み藪明山、再び。

「世界が驚嘆した美の心髄 明治・大正の木彫と蒔絵」1階展示室にて、同時開催中

 平成建設



桜風俗紋 丸皿
(高さ4.0cm 直径21.0cm)

100年の時を超えて里帰りした、明山薩摩

日本にはほとんど残っていない幻の極細密絵付の陶磁器、藪明山。明治日本の工芸力を存分に発揮した名品たちは、ヨーロッパやアメリカに渡り、賞賛されました。1867年(慶応3年)パリ万国博覧会で薩摩錦手^{*}、1873年(明治6年)ウィーン万国博覧会で薩摩焼の名手12代沈壽官(ちん・じゅかん)の作品が高い評価を得て、薩摩焼風陶器の輸出が本格化すると、明治の人々は国の内外で開催された沢山の博覧会で世界的販路を拡大。酸化コバルトなどの新しい絵付け顔料や石膏形など、海外コレクターが好む新技術を次々と取り入れ、第一次世界大戦[1914年(大正3年)~1918年(大正7年)]や世界大恐慌[1919年(大正8年)]によって、高級陶磁器や手の込んだ工芸品の輸出産業に陰りが見えるまで外貨を獲得し、日本近代化の礎を築きました。活気にあふれた時代が大きく変わる明治以降、藪明山は作家兼大阪薩摩陶器工房創業者として博覧会に出品し数々の受賞を重ねるだけでなく、日本のまとめ役として世界博覧会の運営に協力しました。

^{*}薩摩錦手：主に白釉を掛けた陶磁器に赤絵を施し、さらに緑、黄、紫、青などの透明釉で上絵をつけたもの

藪明山：本名は政七、画号は陶齋。俳人・書家を排出した藪家の次男として、嘉永6年(1853年)大阪長堀に生まれる。祖父は儒学者・藪鶴堂、父は画家・藪長水。昭和9年(1934年)没、享年82歳。



花尽くし花瓶 (高さ9.6cm 口径2.6cm 最大径8.7cm)



菊花文風俗図香炉 (高さ6.5cm 口径5.4cm)



菊詰文窓絵三面情景図花瓶 / 一対
(高さ9.9cm 口径6.1cm)



垂藤雀文ティーセット

平成記念美術館 ギャラリー

【お問い合わせ】03-3426-1103

開館時間 10:00~18:00 / 観覧無料

休館日：日曜・年末年始

駐車場：全5台

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4

【電車】東急世田谷線 上町駅より徒歩10分

【お車】馬事公苑正門より世田谷通り沿いに東へ約650m

【バス】渋谷駅バス停 3番乗り場「成城学園前駅西口」行 渋24(東急バス/小田急バス)「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



2015年 グッドデザイン賞 W受賞

この度、平成記念美術館ギャラリーを併設する平成建設世田谷支店は、2015年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。また、低市場価値材を活用した壁構造の家「木のカタマリに住む」は、グッドデザイン・ベスト100を受賞しています。受賞作品は、東京ミッドタウンで開催されるグッドデザインエキシビジョン2015(G展)で紹介されました。

【次回展覧会】2016年6月2日(木)~7月7日(木)

第2回 東京藝術大学 平成藝術賞 受賞作家展

※スケジュールは予定の為、変更になる場合があります。



GOOD DESIGN AWARD 2015

BEST 100

写真左) 新築住宅「木のカタマリに住む」
写真右) 商業施設「平成建設世田谷支店」